Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	公開シンポジウム: 「英語教育の新時代『英語ができる日本人』の育成のための戦略構想」を超えて
Sub Title	
Author	大津, 由紀雄(Otsu, Yukio)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム人文科学分野論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2008
Jtitle	活動報告書 Vol.2, (2008.),p.40-40
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	第2章 : シンポジウム等の活動報告
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002002-20090300-0040

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

公開シンポジウム

6

「英語教育の新時代『英語ができる日本人』の育成のための戦略構想」を超えて

開催日

2008年9月15日

企画班

言語と認知班

企画者 講演者

大津由紀雄 江利川春雄(和歌山大学)、斎藤兆史(東京大学)、津田幸男(筑波大学)、三浦孝(静

岡大学)、山田雄一郎(広島修道大学)、古石篤子(慶應義塾大学)、大津由紀雄(本

拠点言語と認知班)

公開シンポジウム「英語教育の新時代『英語ができる日本人』の育成のための戦略構想を超えて」は、2008年9月15日、520名の参加を得て、大盛会であった。5時間を越える長丁場も、議論の熱気におされ、あっというまに終了時間(40分ほど、予定時間を延長)となり、充実した1日となった。

今回のシンポジウムでは、津田幸男(筑波大学)、 山田雄一郎 (広島修道大学)、江利川春雄 (和歌 山大学)、三浦孝(静岡大学)、斎藤兆史(東京大学)、 古石篤子、大津由紀雄(慶應義塾大学)(敬称略) の7名が登壇し、講演、パネル・ディスカッション、 全体討論を行った。シンポジウムの趣旨は、戦略 構想の分析と行動計画の評価をしたうえで、今後 の英語教育のあるべき姿を議論するというもので あった。認知科学など関連諸科学(論理)の成果 と教育政策や教室における教育実践(感性)のバ ランスを念頭において構成された。シンポジウム での議論により、トップダウンに、しかも、数値 で学校教育各段階での英語教育の目標を設定する ことの問題点が明らかにされ、同時に、外国語教 育としての英語教育における母語の重要性の認識 が強く打ち出された。シンポジウムの最後に、今 回の登壇者を中心に作成した、教育再生懇談会に 対する要望書の概要を紹介した。この要望書は10 月20日に懇談会の安西祐一郎座長に対して直接提 出した。このシンポジウムに関連する資料は大津

由紀雄研究室のウェブサイトhttp://www.otsu.icl. keio.ac.jp/からダウンロードできる。また、このシンポジウムをもとにした書籍を、シンポジウムを後援した慶應義塾大学出版会から2009年春に刊行する予定である。12月21日には、日吉キャンパスJ14教室において、佐藤学さんの講演「言語リテラシー教育のポリティクス」と題された講演と佐藤さんと大津由紀雄の対談が開催された。

(大津由紀雄)

